



# 造 形 実 技

(120 分)

## 環 境 科 学 部

### 環境建築デザイン学科

#### 注 意 事 項

1. 解答開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題は 1 題のみで 1 ページです。
3. 提出はデッサンボード 1 枚です。縦・横いずれの向きに用いてもかまいません。
4. 受験番号と氏名は、デッサンボード裏面の記入欄に書きなさい。裏面には解答を描かないこと。
5. 描画には黒鉛筆・消しゴムのみ使用すること。定規・コンパスなどを使用してはいけません。ただし、羽根ぼうきまたは製図用ブラシは使用できます。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

## 問題

以下の各手順にしたがって、デッサンボードに表現せよ。その際、手順1、手順2は、デッサンボードの画面を適宜、分割して描け。手順3は、デッサンボードの任意の位置に記せ。問題に明記された内容以外のことについては、自由に設定してよい。

### <手順1>

下記の5種類の立体から2種類を選び、その2種類の立体を組み合わせて、新しい立体を構想せよ。そのようにして、5つ以上の新しい立体を構想し、デッサンボードに描け。

直方体      四角錐      三角柱      円柱      球

#### 【手順1の留意点】

- ・立体の組み合わせ方を工夫すること。
- ・手順1では質感や陰影の表現は評価しない。

### <手順2>

手順1で作成した新しい立体から1つを選び、ある湖の水面上の空中に浮かんだ姿を想像せよ。立体の下端から水面までの距離は1mとする。その立体の全景を、その湖とともにデッサンボードに表現せよ。立体の材質を具体的に設定し、表現すること。

#### 【手順2の留意点】

- ・新しい立体を表現するのにふさわしい視点や構図をよく考えること。
- ・手順2では質感や陰影を表現すること。

### <手順3>

手順2の空間の構成の意図を表すタイトルを考案し、デッサンボードの任意の位置に明記せよ。

#### 【手順3の留意点】

- ・タイトルの字数、配置をよく考えること。